

第252回教員会議・第155回研究科委員会 議事要録

日時：平成29年7月12日（水）13：30～16：50

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

会議に先立って、「科研費改革についての説明」および「名古屋議定書アンケートの配布・回収」が行われた。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について

資料1にもとづき、特に理工学類からの質問と関連性が強い回答を中心として説明があった後に意見聴取を行い、下記の意見があった。

- ・負担の議論を先送りにすることはやめてほしい。
- ・共通教育科目としての「情報」は教職履修において必修となっていたが、今回の基盤教育での履修表の開講数で足りるのか？

これについて学類執行部から、先日の副学長の説明において、基盤教育では教職必修と関連づけないとのことから、必要に応じて各学類で準備することになると回答をもらっている旨が述べられた。

(2) 客員研究員の任用について

回収資料に基づき、客員研究員に任用したい旨が説明され、承認された。

(3) 学類の改組について

資料2および投影資料に基づき、7月7日に本学類1・2年生対象に行われた学類改組に対するアンケートの結果が説明された。また学類カリキュラム構想委員会の設置が提案された。下記の意見が出された（➡は学類執行部からの回答）。

- ・前回の教員会議で述べられた意見をどう受け止めているか➡今後カリキュラム構想の中で反映させていきたい。
- ・放射線科学コースは受験生を減らす原因となるのではないか。
- ・在学生へのアンケートを受験生の動向とリンクさせて考えるべきではない。
- ・カリキュラム構想委員会はコース制WGを引き継ぐ形になるのか。➡一部教員には引き続きお願いすることになると思う。
- ・カリキュラム構想のスケジュール観は？ ➡別要因として教職の再課程認定を年度末に行う必要がある、その前までに学類全体の科目名等を確定しておく必要がある。
- ・カリキュラム構想委員会では事務的支援が必要である➡委員会となるので事務方

に入ってもらえるようにしたい。

以上の議論の上で、カリキュラム構想委員会（仮称）の設置が認められた。委員会メンバーについては将来構想委員会で選出の上、8月の教員会議にて確認を行うこととした。

2. 教務委員会

(1) 平成29年度非常勤講師計画について

資料3に基づき非常勤講師計画が説明され、了承された。

3. 共通教育委員会

(1) 平成29年度共通領域科目非常勤講師計画について

資料4および回収資料に基づき説明され、了承された。

4. 学生生活委員会

(1) 入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について

資料5に基づき説明され、了承された。

5. 現代教養コース運営委員会

(1) 現代教養コースの放送大学活用および科目選択について

現代教養コースで開講されている一部の科目について放送大学科目を代替として活用する旨が説明され、了承された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第160回教務協議会について

(審議事項)

- ・大学院生の学類科目等履修生への出願について

資料6に基づき、研究科に所属する院生が他学類の授業を科目等履修生として出願できる旨が認められたとの報告があった。ただし、資格取得の目的があることを前提とする。

- ・「英語の語学研修に係る学修の単位認定に関する要項」の改正について

資料7に基づき、現状に合わせて申請期間を変更した旨が報告された。

2. 共通教育委員会

(1) 平成29年度前期共通領域科目履修者数一覧表について

教員控え室に掲示されている旨のアナウンスがあった。

3. 入学広報委員会

(1) メッセンジャープロジェクトについて

資料8に基づき、本年も実施する旨が報告された。学生へのアナウンスについて協力依頼があった。

4. 国際交流センター員

(1) 平成29年度後期交換留学生の受入について

資料9に基づき、4名の交換留学生を受け入れる旨が報告された。

5. 放射線安全委員会

(1) 放射線業務従事者の登録について

放射線業務従事者として登録する申請期間を年度内2回(4月・8月)とする旨が報告された。なお、今年度の次回申請期間は8月31日である。

6. アドミッション運営委員

(1) 福井大学と福島大学による「第1回入試研究会」報告について

資料11に基づき、福井大におけるA0入試および高大接続の現状が報告された。

7. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金2件、共同研究5件、受託研究2件が報告された。

[その他]

1. 平成29年度後期研究支援員の募集について

男女共同参画を目的とした研究支援員の募集について、アナウンスされた。

2. 教職課程の再課程認定について

資料12に基づき、再課程認定の概要について情報が提供された。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 環境放射能学専攻(仮称)の設置について

資料13に基づき、環境放射能学専攻設置の概要と検討状況についての説明があった。文部科学省への事前相談を行っており、専攻としての設置が認められる感触であることが報告された。博士前期課程は共生システム理工学研究科の定員60名のうち、7~10名を環境放射能学専攻の定員とすることが想定されている。定員3名程度の博士後期課程を、年次進行で設置することを考えている。

環境放射能研究所への大学院設置は中井プランにも言及されており、全学的な改革の取り組みの一環である。放射線に関連する機関へのニーズ調査を行っており、修了者には多くの求人があることが見込まれている。

改革に伴う予算要求は積極的に行なうよう、共生システム理工学研究科全体としてメリットがある予算要求をするよう、運用上の負担が増加しないように工夫するよう、環境放射能研究所所属の教員が共生システム理工学類の教育にも活躍するよう、要望があった。

入試の実施方法、各種会議や委員会等の運用方法など、今後の検討課題についても発言があった。

意見交換の結果、環境放射能学専攻(仮称)を設置する方向で今後の検討を進め、文部科学省などとの折衝や各種の準備をすることが了承された。大学院カリキュラ

ムの改編も、学類のカリキュラム構想委員会（仮称）のミッションとすることとした。

2. 学生生活委員会

- (1) 入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について
資料5に基づき説明され、了承された。

[報告事項]

1. 教務委員会

- (1) 博士前期課程秋入学の履修順序について
後期に開講する特論ⅠⅠを前期開講の特論Ⅰより先に履修してよいかの確認への協力要請があった。

◆教育研究評議会◆

第282回（6月6日開催）報告

[報告事項]

- (1) 平成28年度foRプロジェクト成果報告について※追加報告
成果報告があった。

第283回（6月20日開催）報告

[審議事項]

- (1) 経済経営学類長の辞任に伴う後任者の任期について
平成31年3月末までとすることとなった。
- (2) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について
戻り報告があり、各学類から意見や質問が出された。教育改革WGで回答を用意することとなった。

[報告事項]

- (1) 平成28年度foRプロジェクト成果報告について
成果報告があった。
- (2) 第2期中期目標期間の業務実績評価結果について
業務実績評価結果の最終版が示された。
- (3) 現代教養コースにおける放送大学の活用について
各学類1科目分について放送大学の科目を用いる。教員会議（報告）と同じ内容である。
- (4) 福島大学国外活動時の危機管理方針について
危機管理方針が説明された。学生を海外に派遣する際には特に注意するよう、要請があった。
- (5) 各大学等での入試改革の動向について

各大学の動向が紹介された。

第284回（7月4日開催）報告

[審議事項]

- (1) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について
教員会議（審議事項）で説明したものである。

[報告事項]

- (1) 平成28事業年度決算について
黒字が出ている。予算の執行を強く抑制した結果としての黒字は、喜べないとの発言があった。
- (2) 平成30年度概算要求について
地方創生などをキーワードとして概算要求を行なう方針であることが説明された。
- (3) 平成28年度監事監査結果について
監査結果が報告された。
- (4) 平成28年度内部監査における改善措置等について
改善措置内容が報告された。
- (5) 「福島大学に求められる学長像」の報告について
現学長の任期が今年度末までであることにより、選挙日程（案）も併せて情報提供された。

◆運営会議◆

第94回（7月11日開催）報告

- (1) 科研費審査システム改革等について
科研費の改革について説明された。
- (2) 名古屋議定書アンケートについて
議事に先立って、配布回収された。
- (3) 農学支援基金寄附状況の中間報告について
状況が報告され、基金への協力が呼びかけられた。
- (4) 平成29年度高校訪問について
訪問状況が報告された。